

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第33号 2022.08.08 発行

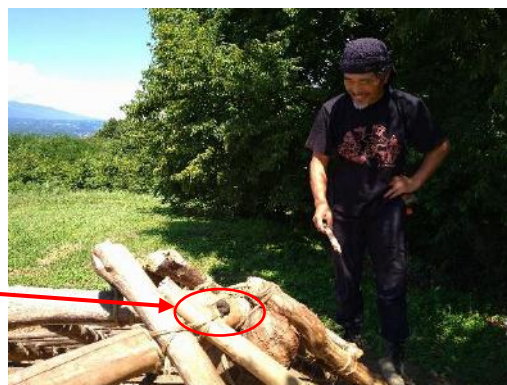
縄文人たちも夏休み

コロナ感染も山梨県ばかりか北杜市でもずいぶん増えているようです。近くの知り合いでもちらほら感染者の仲間入りを聞きますが、『自分だけは・・・』とか『予防接種しているから・・・』とは言っていられない状況になっている様子です。コロナ感染対策のせいばかりではありませんが、高齢者の我々は熱中症対策もあって、今年も8月6日の作業を最後に夏休み期間に入りました。夏休みの間には、日ごろ会えないお孫さんたちやお友達も多く八ヶ岳にいらっしやることと思います。ぜひ縄文遺跡にお連れして、ひと時縄文ロマンを満喫していただければと思います。

❖ こんなところに動物の形跡が・・・

梁の上に動物のフンを発見。梁の上まで上ってきているので、『これはだれの仕業？』と皆で推論しますが、やはり『サルの仕業であろう』という結論に。

ここにまだほやほやのウンチが !!!
昨夜の出来事か？
棟梁のこの嬉しそうな顔は何故 ???



❖ 5号棟棟上げ式

垂木もほぼ梁に架かり全体の輪郭が見えてきたところで、7月29日に棟上げ式を行いました。人が中に入ってみると7本柱の4号棟に比べてとても狭く感じます。如何に4号棟が大きかったか改めて実感できますが、小型住居がどのような目的で使われていたのか？かえて謎が深まります。今回のご馳走は、金井農園のジャガイモ。二種類のジャガイモを用意してもらいましたが、デストロイヤーという名前のジャガイモは初めて。表面の皮が覆面のイメージから名付けられたようですが、食べてみると名前のイメージとはまったく違い、サツマイモのような甘さがあって、とても美味しく『来年は作ってみたい！』と思いました。同じように美味しくできるかどうかは腕次第。



❖ 次世代の縄文棟梁が育っています

ナタや手オノの使い方、ノミを持つ手つきが様になってきました。縄の結び方も頭をひねりながら身に付けていきますが、やはり覚えるよりも忘れる方が早い我々とは大きく違うようです。自分の孫のような年頃でもありやさしい爺さんたちにとっても楽しい自然学習の場になってきました。



❖ 5号棟建設フラッシュ

7/2



7/16



7/8



7/16



このように写真を並べてみるとなんと一か月の間に随分進捗したことがよく分かります。我ながら、天晴れ！な気分になってきます。

3棟目となると作業も早い。

7/9



7/9



7/23



8/6



しかし、縄文の人たちはもっと乏しい道具で、更に早いペースで住居をつくらなければ安らぐ場所を確保できなかった、と考えると『どんな人たちだったのだろうか』と妄想が妄想を掻き立ててしまいます。

❖ 休み明けの作業開始は9月2日（金）からを予定しています。8月の終わり頃には9月作業予定表を配布しますので、参加予定をお知らせください。

❖ 9月には土器づくり体験を計画しています。詳細は別途メールでお知らせしますが、9月10日に粘土で土器づくり、9月24日に野焼きをして仕上げる予定です。どのような土器をつくるか考えながら、コロナ感染しないよう気を付けてしばしの夏休みをお過ごしください。